

## 6 年生全国学力学習状況調査から

※平成 28 年度 各教科の調査結果

### ○国語 A (主として「知識」に関する問題)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			駒岡小	神奈川県(公立)	全国(公立)
	全体	15	70.2	70.3	72.9
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	73.6	79.9	79.2
	書くこと	2	78.7	73.8	72.8
	読むこと	2	75.3	78.6	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	67.1	67.0	71.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	73.6	79.9	79.2
	書く能力	2	78.7	73.8	72.8
	読む能力	2	75.3	78.6	78.5
	言語についての知識・理解・技能	10	67.1	67.0	71.1
問題形式	選択式	6	77.0	77.5	77.2
	短答式	9	65.6	65.6	70.0
	記述式	0			

### ○国語 B (主として「活用」に関する問題)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			駒岡小	神奈川県(公立)	全国(公立)
	全体	10	58.7	58.2	57.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	51.7	52.1	51.1
	書くこと	6	55.9	53.4	53.4
	読むこと	3	69.0	69.0	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	58.3	53.8	54.7
	話す・聞く能力	3	51.7	52.1	51.1
	書く能力	6	55.9	53.4	53.4
	読む能力	3	69.0	69.0	69.3
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	6	59.0	61.2	59.9
	短答式	0			
	記述式	4	58.3	53.8	54.7

### ○算数 A (主として「知識」に関する問題)

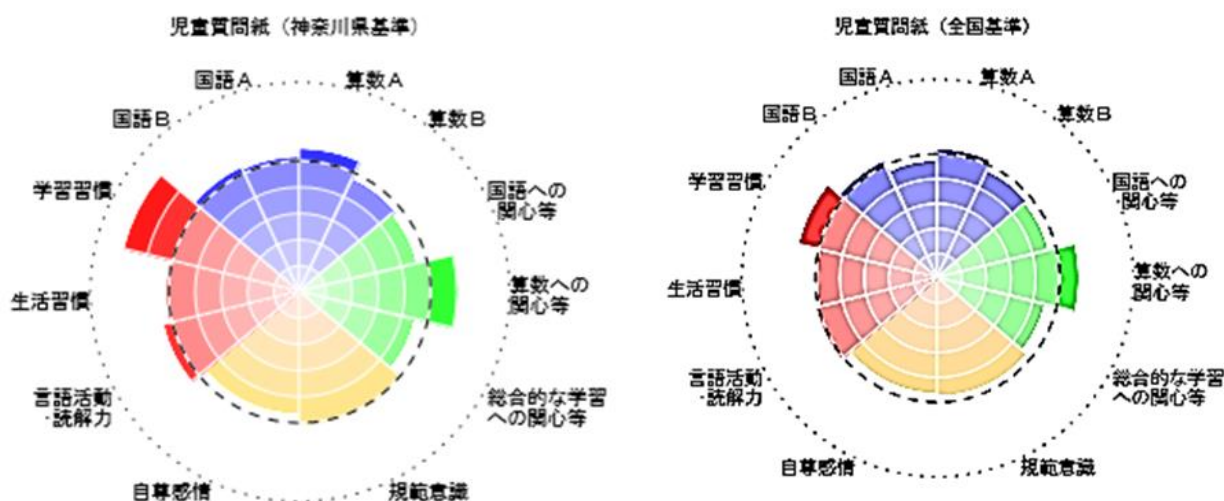
分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			駒岡小	神奈川県(公立)	全国(公立)
	全体	16	78.7	76.6	77.6
学習指導要領の領域	数と計算	10	81.4	78.9	80.5
	量と測定	2	82.8	76.9	77.0
	図形	2	69.5	76.2	78.8
	数量関係	3	74.3	69.6	68.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	5	82.1	80.5	82.5
	数量や図形についての知識・理解	11	77.1	74.7	75.4
問題形式	選択式	5	74.0	75.1	75.8
	短答式	11	80.8	77.2	78.5
	記述式	0			

### ○算数 B (主として「活用」に関する問題)

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			駒岡小	神奈川県(公立)	全国(公立)
	全体	13	44.6	47.3	47.2
学習指導要領の領域	数と計算	6	43.5	45.2	44.4
	量と測定	5	42.3	43.6	43.7
	図形	3	30.3	36.6	36.3
	数量関係	6	39.3	42.8	42.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	39.6	40.8	40.9
	数量や図形についての技能	2	46.0	53.7	53.3
	数量や図形についての知識・理解	2	65.5	70.4	69.5
問題形式	選択式	5	53.3	56.8	56.7
	短答式	3	61.3	66.8	66.4
	記述式	5	25.7	26.1	26.2

2教科すべての項目においてほぼ、全国平均並みの通過率といえます。特に国語A「書くこと」については5%、算数A「量と測定」については6%近く上回る結果となりました。設問数から考えると「あと1問」の正答で全国平均通過率を完全に上回るため、より、精度の高い学習活動や「なぜそのように考えたか」「なぜそのように解答したか」といった説明力を充実させる学習が求められます。国語のローマ字の表記、算数の正方形に内接する円についての概要と説明など基礎技能的な部分を大切に押さえ、定着を図る指導が有効であると考えられます。

児童質問紙では自尊感情の高まりが見受けられ、「自分にはよいところがある」という質問に対し「思う」と回答した児童が71.9%です。これは全国平均76.3%に迫る回答といえます。それらは「算数の問題の解き方がわからなくても諦めずにいろいろな方法を考える」(本校62.9% 全国44.8%)「家で学校の授業の復習をしている」(本校41.6% 全国23.5%)といった家庭や学校での励ましやよい習慣に支えられ自信をつけてきていることがうかがえます。学習習慣や言語活動・読解力では神奈川県平均を上回っており、特に算数の学習への関心は突出しています。



児童質問紙（県及び全国基準）破線は平均値

ただ、対照的に学力面では算数B問題（算数活用問題）が全国平均を若干（1～7%）下回っており、算数については「平均以上に関心も高く、学習もしているのに、活用がうまくいかず思うような結果に表れない。」といった状況が浮かび上がってきます。また特徴的なのが1日当たりの読書量の少なさで、「読書は好きですか」といった質問に対し、「好き」との回答が全国49.3%であるのに対し、本校は38.2%となっています。

これらを踏まえ「分かる授業」「学習への達成感」「できたこと、身についた能力の認知」を目指し、子どもたちの規範意識と自尊感情を高め、自信をもって社会に出て行けるよう、学校での教職員一体となった学習指導・生活指導を引き続き行って参ります。同時に子どもたち一人ひとりが自信をもって生きていくことができるよう、小さなことでもできた事実を認め、よさを見出し、本人に積極的に伝えていくことができるよう、家庭・地域の協力・支援体制の充実を呼びかけていきたいと思います。